

第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」 バレーボール競技実施要領

1 競技規則

2019年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

(1) 聴覚障害者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー（手話通訳含む）1名及び選手12名以内とする。

イ 監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含めて12名以内とする。

ウ 男女別にチームを編成する。

(2) 知的障害者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内とする。

イ 男女別にチームを編成する。

(3) 精神障害者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内とする。

イ 男女混合でチームを編成する。（試合中は少なくとも1名以上の女性プレイヤーが出場していなければならない。）

3 競技方法

(1) 試合は、聴覚障害者の部（男女別）、知的障害者の部（男女別）及び精神障害者の部ごとにトーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。

なお、トーナメント戦以外に、交流戦を実施する。

(2) 全試合3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。

(3) 1セット25点のラリーポイント制とする。なお、得点が「24対24」の同点となった場合、それ以降は、2点リードしたチームをそのセットの勝者とする。

(4) 第3セットでは、いずれかのチームが13点先取したときにコートの変更を行う。

(5) 試合は、ワンボールシステムで行う。

(6) 設定時刻を超える場合は直前の試合終了の10分後にプロトコールを開始する。ただし、連続試合となる場合は試合終了後の20分後にプロトコールを開始する。

4 服装等

競技者番号は、1番から12番までとする。やむを得ない場合は、1番から99番まで認める。また、ユニフォームに都道府県名・指定都市名を表示すること。

5 試合球

- (1) 聴覚障害者の部及び知的障害者の部の試合球は、次の公益財団法人日本バレーボール協会検定球5号球とする。
 - ア 男子 モルテン製カラーボール (V5M5000)
 - イ 女子 ミカサ製カラーボール (MVA300)
- (2) 精神障害者の部の試合球は、日本ソフトバレーボール連盟公認球ソフトバレーボール球・糸巻きタイプ (モルテン製円周78±1cm, 重量210g±10g) とする。

6 組合せ

組合せは、2019年7～8月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会の下に代理抽選の上、決定する。

7 開始式・表彰式

開始式および表彰式は、競技会場で行う。

8 その他

- (1) 監督会議は2019年10月11日 (金) に行う。
- (2) ベンチには、選手、監督、コーチ、マネージャー以外は入ることができない。ただし、聴覚障害のチームにおいて、チームスタッフ3名とは別に手話通訳者1名が帯同する場合はこの限りでない。手話通訳者は、参加申込時に別に登録した者とする。
- (3) 監督、コーチ、マネージャーは規定の各章を左胸部につけることとし、未着用の場合はベンチに入ることができない。
- (4) 監督、コーチ、マネージャーは統一された服装を着用すること。
- (5) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (6) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (7) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。